

令和6年度「税についての作文」優秀作品

庄内町長賞 最優秀賞

高田幸希さん（余目中3年）

庄内町長賞 優秀賞

佐藤美空さん（余目中3年）

樋渡絢音さん（余目中3年）

斉藤綾汰さん（立川中3年）



△左から樋渡さん、高田さん、佐藤さん



△斉藤さん

税についての作文の募集は、将来を担う中学生が、身近に感じた税、テレビや新聞で知った税の話を中心に作文を書くことで、税について関心を持ち正しい理解を深めることを目的に毎年実施しています。今年度は町内の中学3年生20人が応募し、4人のみなさんが受賞しました。

全国大会出場おめでとうございます！

JFA第48回全日本U-12 サッカー選手権大会



奥山侑輝さん（余目2小6年）

石川琥聖さん（余目4小5年）

1 2月26日から鹿児島県鹿児島市で開催されたJFA第48回全日本U-12サッカー選手権大会に、モンテディオ山形「ジュニア庄内」が出場。同チームの一員として奥山侑輝さんと石川琥聖さんがエントリーされました。奥山さんは「予選を突破し優勝したい」、石川さんは「1試合でも多く出られるよう頑張りたい」と話していました。

第13回U-15クラブバスケットボールゲームス



田村心彩さん（余目中3年）

1 2月25日から愛知県名古屋市で開催されたU-15クラブバスケットボールゲームスに、山形県代表として田村さんが所属する「クラブHOOP MONSTERS」が出場しました。田村さんは「出場できたら頑張りたい」と大会への意気込みを話していました。

令和6年度第72回全国高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会

ネグロス電工賞

後藤大良さん（庄総高通信制5年度生）

厚生労働省人材開発統括官賞

佐藤来美さん（庄総高通信制4年度生）



定時制、通信制高校の生徒を対象とした第72回全国高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会が11月17日、東京都で行われ、庄内総合高等学校通信制の後藤大良さん（5年度生）と佐藤来美さん（4年度生）が出席し、それぞれネグロス電工賞、厚生労働省人材開発統括官賞に輝きました。

この大会は、全国の定時制・通信制高等学校の生徒が、学校生活を通して、感じ、学んだ貴重な体験を発表し、多くの人々に感動と励ましを与えることを目的に開催されており、各都道府県代表と通信制7ブロック（地区）代表の計60人が参加。12人ずつ5会場に分かれ予選を行い、会場ごとに3人ずつ計15人が主会場で再度発表し審査を受けました。

後藤さんは「これまで準備してきたこの数か月の経験は、私のこれからの人生における大きな自信に繋がりました。このような大会に出場し素敵な賞までいただいたことに、喜びの気持ちでいっぱいです。またこの大会に向けてサポートしてくださった両親や先生方にとっても感謝しています」と話しました。

佐藤さんは「自分の経験を人前で発表するという事は決して簡単なことではなかったですが、初めて夢と目標を持ち込んだ私の挑戦でした。沢山の方々に支えられ、悔いなく、そして自分らしく最後まで走り抜くことが出来ました。また、他県の生徒の様々な視点、多様な内容の発表は感慨深いものがありました。今後この経験を胸に刻み、感謝の気持ちを忘れることなく色々なことに挑戦していきたいと思えます」と喜びと感謝の気持ちで大会を振り返りました。

第60回日本コロムビア全国詩吟コンクール一般第三部 準優勝



相馬 武さん（囲町）

12月8日、茨城県水戸市で開催された「日本コロムビア全国詩吟コンクール決勝大会」において、「一般第三部（55〜74歳の部）」に出場した相馬武さんが、見事準優勝に輝きました。

この大会は、全国各地で行われた地区予選で上位の成績を収めた方のみが出場できる大会。相馬さんは、山形県代表3人のうちの一人として出場しました。

26歳から詩吟を初め、これまでも何度か全国大会に出場経験があるという相馬さん。この度の受賞の感想を伺うと「全国には上手い人がたくさんいる。まさか自分が受賞できると思ってもみなかった。大変光栄な賞をいただき感慨無量です」と話してくれました。

現在、日本九重流詩吟学会、庄内町詩吟愛好会の会長を務める相馬さん。昨秋には新しく4人が仲間入りし、伝統芸能の一つである詩吟を後継者に受け継いでいきたいと喜んでおられました。